

世田谷区立山野小学校改築基本設計（案）について

（付議の要旨）

区立山野小学校改築工事に係る基本設計（案）を取りまとめたので、その概要を報告する。

1 基本設計概要

（1）基本方針

「めざせ！てっぺん」を実現する学習・交流空間づくり
豊かな学校生活を育む居心地よい空間づくり
「山野の山」のもと環境にやさしい学校づくり
「ふるさと山野」として親しまれる誇れる学校づくり
安全・安心の学校づくり

（2）建築概要

敷地概要

所在地 世田谷区砧六丁目7番1号
敷地面積 13,645㎡
(第一校地11,153㎡、第二校地2,492㎡)

建物概要

構造・階数 鉄筋コンクリート造、地上4階建
主要室構成
学校施設 普通教室(31)、ワークスペース(4)、体育室、特別支援教室(2)、特別教室(理科室、家庭科室、音楽室(2)、図工室、図書室等)、多目的ルーム、給食諸室、管理諸室、新BOP室等

地域連携施設 防災倉庫等

建築面積/建ぺい率 約3,328㎡/29.8%

延床面積/容積率 約9,981㎡/89.5%

最高の高さ 平均地盤面+17.9m

案内図 別紙のとおり

配置・平面図 別紙のとおり

2 施設の特徴

（1）配置計画

新校舎・体育館を敷地北側に集約し、南側に校庭を配置することにより、普通教室の良好な学習環境を整え、校庭も現状より広く整形に確保する。また周辺の環境を著しく変えないよう配慮する。

(2) 平面計画

普通教室は1～4階とし、教室を校庭側に配置し、自然採光と自然通風による良好な室内環境を確保する。

特別教室は1～4階の北側とし、児童の教室間移動の動線に配慮した計画とする。

特別支援学級は2階の北東側に配置し、近い位置に階段を設けることで、動線に配慮した計画とする。

管理諸室は校庭から正門までの範囲を視認できる1階に配置し、児童の登下校や来校者の視認性に配慮した計画とする。

体育館および多目的ルームは北西に配置し、十分な大きさを確保すると共に、児童や地域住民が利用しやすい計画とする。

プールは敷地の有効活用のため屋上に設置する。

(3) 動線計画

教室移動動線に配慮し、普通教室と特別教室はできるだけ同一階に配置する。体育館や多目的スペース等を北西にまとめて配置することで、地域住民も利用しやすい計画とする。給食等の搬出車両と児童の動線を明確に分離し、安全な動線計画とする。

(4) 外構計画

「山野の山」を活かし、緑に囲まれた潤いのある学校を計画する。既存の樹木をできるだけ残し、周辺からの景観に配慮する。

(5) 防災計画

地域の防災拠点として防災倉庫を設置し、既存の災害用マンホールトイレ、井戸を活用する。また、校舎や体育館は、耐震性を高めるための係数を建築基準法で定める基準の1.25倍以上とする

(6) 省エネルギー及び環境対策

太陽光発電パネルや屋上緑化、雨水貯留槽による中水利用等、自然エネルギーを利用した環境配慮対策を講じる。

(7) 仮設計画

既存校舎の一部と体育館を利用しながら、必要最小限の仮設校舎とし、渡り廊下で接続する計画とする。通学路を変更しないで済むよう登下校の動線を確保する。

3 概算工事費

本体工事費 : 約38.3億円(外構・校庭整備工事を含む。)

仮校舎整備費 : 約5.5億円(仮設校舎、既存校舎改修)

4 工事工程

平成27年度 実施設計、プール解体、仮校舎建設

平成28・29年度 旧校舎解体、新校舎建設

平成30年度 仮設校舎解体、旧体育館解体、校庭整備工事

5 今後のスケジュール

平成27年5月25日 教育委員会報告

平成27年5月27日 文教常任委員会報告

平成27年6月下旬 住民説明会